

# 理学院数学コースでの科目履修

新M1・D1(令和8年度入学)対象

令和8年4月6日 数学系教育委員会

# 用語の定義 (学修案内 p. 2)

- **文系教養科目** := 文字通り「文系の教養科目」
- **アントレプレナーシップ(キャリア)科目** ≡ 「社会人」的なスキルを磨く科目
- **専門科目** := 数学コースが開講する数学の講義(集中講義も含む)
- **講究科目** := 指導教員とのセミナー
- **研究関連科目** := 指導教員とのセミナー

# 修士課程の修了要件（学修案内 p. 1,2）

- **（修士課程で履修すべき科目）** 科目コードの数字3桁が400番台か500番台の科目を **31単位以上**、下記の条件を満たすように履修する
  - 文系教養科目： 400番台から**2単位**以上 + 500番台から**1単位**以上
  - アントレプレナーシップ科目： 400番台か500番台から**2単位**以上
  - 講究科目： 400番台から**4単位** + 500番台から**4単位**
  - 研究関連科目： 400番台から**4単位** + 500番台から**4単位**
  - 専門科目： **8単位**以上
- **（修士論文）** 修論を書き、修論審査に合格する

# 修士：アントレプレナーシップ科目の履修（学修案内 p. 7,8,9）

■ アントレプレナーシップ科目は数学コースでも独自に開講しています：

## ■ 数理科学特別演習 A～D

- 研究者向けセミナーへの参加・発表など
- オープンキャンパスなどでのポスター発表など

## ■ 数理科学キャリア特別実践

- 修論の予備審査など

## ■ 数理科学インターンシップMA, MB

- 企業・研究所等におけるインターンシップ

# 修士：講究科目・研究関連科目の履修（学修案内 p.10）

## ■ 標準的な履修方法

- M1前期：数学講究 S1 + 数学特別研究S1 のペアで履修（400番台）
- M1後期：数学講究 F1 + 数学特別研究F1 のペアで履修（400番台）
- M2前期：数学講究 S2 + 数学特別研究S2 のペアで履修（500番台）
- M2後期：数学講究 F2 + 数学特別研究F2 のペアで履修（500番台）

# 博士後期課程の修了要件（学修案内 p.12,13）

- **（博士課程で履修すべき科目）** 科目コードの数字3桁が600番台の科目を **24単位以上**、下記の条件を満たすように履修する
  - 文系教養科目： **2単位**以上
  - アントレプレナーシップ科目： **4単位**以上
  - 講究科目＋研究関連科目： **12単位**＋**4単位**以上
  - 専門科目： **2単位**以上
- **（学位論文）** 学位論文を書き、学位審査に合格する

# 博士:アントレプレナーシップ科目の履修 (p. 16,17,18)

## ■ 数理学キャリア開発 A~D

- 研究集会・研究者向けセミナーへの参加・発表など

## ■ 数理学チュートリアル実践 A~D

- TA や 数学相談室での勤務など

## ■ 数理学キャリア特別発展

- 学位論文 (博士論文) の予備審査など

## ■ 数理学インターンシップDA, DB; ジョブ型研究インターンシップ

- 企業・研究所等におけるインターンシップ

数学系HPにある「学部・大学院シラバス」の「大学院課程キャリア科目」参照

# 博士：講究科目・研究関連科目の履修（学修案内 p.21）

## ■ 標準的な履修方法

- D1前期：数学講究 S3 + 数学特別研究S3 のペアで履修（600番台）
- D1後期：数学講究 F3 + 数学特別研究F3 のペアで履修（600番台）
- D2前期：数学講究 S4 + 数学特別研究S4 のペアで履修（600番台）
- D2後期：数学講究 F4 + 数学特別研究F4 のペアで履修（600番台）
- D3前期：数学講究 S5 + 数学特別研究S5 のペアで履修（600番台）
- D3後期：数学講究 F5 + 数学特別研究F5 のペアで履修（600番台）